

【2023. 6.1 発信 VOL. 72】

「進藤金日子メールマガジン」は、ホームページにて配信の申し込みをして頂いた方、名刺交換をさせて頂いた方、報告会等に参加頂いた方等に無料で配信させて頂いています。

VOL.72 は、以下の内容でお届けします。

- 梅雨入りを迎えて
- 参議院経済産業委員会、環境委員会連合審査会での質問について
- 食料・農業・農村基本法の検証について
- 持続可能で強固な食料供給基盤の確立に向けた「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の策定と食料・農業・農村基本法の見直しに関する提言について
- 「稼げる輸出」に向けた第五次提言－輸出を「稼ぎ」の柱にするための取組強化－について
- 「カッコいい」「稼げる」「革新的」水産業の実現のためのスマート・デジタル技術の活用に向けた提言について
- 国民生活に不可欠な木材の安定的かつ持続可能な供給とカーボンニュートラルの実現に向けた森林・林業・木材産業政策の展開について
- 「令和4年度食料・農業・農村白書」について
- 「令和4年度森林・林業白書」について
- 国土審議会土地政策分科会第52回企画部会について
- 国土審議会第19回計画部会について
- 新型コロナウイルス感染症に関する情報について
- 各種講演国政報告を精力的に実施
- 活動状況(2023.5.1～2023.5.31)

■ 梅雨入りを迎えて

参議院議員の進藤金日子です。

・6月に入りました。沖縄から東海地方は既に梅雨入り、各地で例年よりも早い梅雨入りが見込まれます。農業用水を確保する重要な時期ではありますが、近年は、線状降水帯や大型台風による集中豪雨等で大規模な災害が発生する傾向にあります。

・防災・減災の観点から土砂災害危険箇所や老朽化した農業用ため池の巡回点検、災害が発生した場合の連絡網の整備や関係機関との情報伝達ルートの確認等、災害の未然防止対策を徹底することが大切です。

・5月中には、私が事務局長を務めている「自民党普及事業推進議員懇談会総会」、「ダム・発電関係市町村等振興議員連盟」及び「農業委員会等に関する議員懇話会」を開催しました。

・普及事業推進議員懇談会では、農業・林業普及の関係予算の説明を受け、農業は岡山県、林業は埼玉県の取組事例を紹介いただきました。現場での課題が複雑化する中で、普及員の数はなかなか増えないというお話をお聴きしました。

・ダム・発電関係市町村等振興議員連盟では、ダム・発電関係市町村全国協議会と合同で勉強会を開催し、「地域主導による小水力発電の事例と最近の課題」と題して NPO 法人水力開発研究所の代表理事からご講演いただきました。

・農業委員会等に関する議員懇話会では、「地域計画の策定」に関連した農業委員会の取組状況の説明を受け、山梨県市川三郷町農業委員会、熊本県天草市農業委員会から取組事例の報告を受けました。

・それぞれの議員連盟の事務局長として、現場での課題解決に向けてしっかりと取組を進めてまいります。

・第 211 回通常国会も 6 月 21 日が会期末で、いよいよ終盤を迎えております。政府提出の閣法に加えて議員立法についても、成立に向けた審議が重要な局面であり、緊張感を持ってしっかりと取り組んでまいります。皆様方からの引き続きのご協力をお願いいたします。

■ 参議院経済産業委員会、環境委員会連合審査会での質問について

・5 月 23 日、参議院経済産業委員会、環境委員会連合審査会において、我が国のエネルギー政策における原子力発電の今後の方向性について、西村経済産業大臣に対して質問を行いました。西村大臣からは、「原子力については、安全性の確保を大前提に地元の理解も得ながら再稼働を着実に進め、次世代革新炉の開発、建設にも取組み、東日本大震災前よりは依存度を低減する方針を示している」旨の回答をいただきました。

・原子力規制庁には対しては、今回の法改正による変更点、60 年を超えて運転する原子力発電所に対する審査方針、高経年化した原子炉に係る安全規制制度などについて、質問を行いました。

・参議院経済産業委員会、環境委員会連合審査会の模様は、参議院インターネット審議中継または進藤金日子ホームページにアクセスしてご覧下さい。

<https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

<https://www.shindo-kanehiko.com/>

■ 食料・農業・農村基本法の検証について

・農林水産省は、食料・農業・農村政策審議会基本法検証部会（以下、「基本法検証部会」という。）（第 15 回）を 5 月 19 日に、（第 16 回）を 5 月 29 日に開催し、食料・農業・農村基本法の検証・見直し検討について審議を行いました。

・5 月 19 日の基本法検証部会（第 15 回）においては、中間取りまとめ（案）が示され、5 月 29 日の基本法検証部会（第 16 回）において「食料・農業・農村基本法の見直しの議論を踏まえた「中間取りまとめ」が整理され、野村哲郎農林水産大臣に提出されました。今後、食料・農業・農村基本法の検証・見直しに関する意見・要望を募集し、地方意見交換会の開催等を経て、令和 6 年の通常国会に同法改正案と関連法案の提出が予定されています。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います（農林水産省ホームページ）。

<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kensho/index.html>

■ 持続可能で強固な食料供給基盤の確立に向けた「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の策定と食料・農業・農村基本法の見直しに関する提言について

・ 5月17日、自由民主党総合農林政策調査会食料安全保障に関する検討委員会、農林部会は、「持続可能で強固な食料供給基盤の確立に向けた「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の策定と食料・農業・農村基本法の見直しに関する提言」を取りまとめました。

・ 同提言は、食料・農業・農村基本法の見直しに当り、8つの柱を挙げ、平時からの国民一人一人の食料安全保障の確立、適正な価格形成、国民理解の醸成、農村の振興(農村の活性化)などを盛り込まれています。

・ 特に食料安全保障の状況を平時から評価する仕組みの構築について、「世界の食料供給の状況」をはじめ、私の持論である「農地・水等の農業資源、担い手、技術等の生産基盤の状況を含む国内の食料供給力の状況」を示す様々な指標を活用・分析することにより、我が国の食料安全保障の状況を定期的に評価する仕組みを検討することが盛り込まれています。

・ 5月23日には本提言について、野村農林水産大臣に申し入れを行いました。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います。

<https://drive.google.com/file/d/16kY0WwvdM36ECxmr0IRL9D5STDdxc9vS/view?usp=sharing>

■ 「稼げる輸出」に向けた第五次提言－輸出を「稼ぎ」の柱にするための取組強化－について

・ 5月17日、自由民主党総合農林政策調査会農林部会農産物輸出促進対策委員会は、「「稼げる輸出」に向けた第五次提言（輸出を「稼ぎ」の柱にするための取組強化）」を取りまとめました。

・ 同提言は、2030年の農林水産物・食品の輸出額5兆円の目標に向け、「現地発の販売戦略の展開」、「マーケットインを推進する産地・事業者の育成」、「知的財産の保護と活用」及び「関係機関一体となった輸出体制の推進」の4つの柱について、「稼げる輸出」の実現に向けた提言などが盛り込まれています。

・ 5月23日には本提言について、野村農林水産大臣に申し入れを行いました。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います。

https://drive.google.com/file/d/1H1dMA98Tia3c488L0G5lf3tEU9_ADINj/view?usp=sharing

■ 「カッコいい」「稼げる」「革新的」水産業の実現のためのスマート・デジタル技術の活用に向けた提言について

・ 5月16日、自由民主党政務調査会水産総合調査会水産部会は、「「カッコいい」「稼げる」「革新的」水産業の実現のためのスマート・デジタル技術の活用に向けた提言」を取りまとめました。

・ 同提言は、「現在のスマート水産業と展望」、「求められる具体的施策」及び「生まれ変わる10年後の水産業～スマート水産業がもたらす未来～」の3つの柱を挙げ、漁業、養殖業、水産加工・流通業、小売業のそれぞれごとに提言が盛り込まれています。

・ 5月23日には本提言について、野村農林水産大臣に申し入れを行いました。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います。

https://drive.google.com/file/d/13c-VWQU-hcQXp_F6emAwnlByX-NyV3n1/view?usp=sharing

<https://drive.google.com/file/d/1slZ9Uam0gnJJYyfAtnfEmN4HdKyjJM5f/view?usp=sharing>

■ 国民生活に不可欠な木材の安定的かつ持続可能な供給とカーボンニュートラルの実現に

に向けた森林・林業・木材産業政策の展開について

・5月25日、自由民主党総合農林政策調査会農林部会林政対策委員会は、「国民生活に不可欠な木材の安定的かつ持続可能な供給とカーボンニュートラルの実現に向けた森林・林業・木材産業政策の展開」を決議しました。

・同決議は、「国産材の安定的・持続的な供給体制の構築」、「森林・林業の持続性の確保」や「花粉発生源対策」など5つの政策が盛り込まれています。

・5月30日には本決議について、野村農林水産大臣に申し入れを行いました。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います。

https://drive.google.com/file/d/1BDvSXlHh3pQAXKXA51owTNV_plQLPUsB/view?usp=sharing

■ 「令和4年度食料・農業・農村白書」について

・5月26日、「令和4年度食料・農業・農村白書」が閣議決定されました。

・今回の白書の特集は、「食料安全保障の強化に向けて」と題し、農林水産物・食品の輸出額が過去最高を更新など特筆すべき6つのテーマを紹介し、将来にわたって国民に食料を安定的に供給していくための取組について記述がなされています。

・構成としては第1章食料の安定供給の確保、第2章農業の持続的な発展、第3章農村の振興、第4章災害からの復旧・復興や防災・減災、国土強靱化等となっています。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r4/index.html

■ 「令和4年度森林・林業白書」について

・5月30日、「令和4年度森林・林業白書」が閣議決定されました。

・今回の白書では、特集で「気候変動に対応した治山対策」をテーマとし、これまでの治山事業の取組と成果についての紹介、近年の気候変動による山地災害の激甚化・形態変化、気候変動等に対応したこれからの治山対策、花粉対策も取り上げ、花粉の少ない杉の苗木普及等について、記述されております。

・構成としては第1章森林の整備・保全、第2章林業と山村(中山間地域)、第3章木材需給・利用と木材産業、第4章国有林野の管理経営、第5章東日本大震災からの復興等となっています。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(林野庁ホームページ)。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/r4hakusyo/index.html>

■ 国土審議会土地政策分科会第52回企画部会について

・5月15日、国土交通省は、国土審議会土地政策分科会第52回企画部会を開催しました。

・今後の土地政策のあり方に関して、関係省庁からのヒアリングと有識者委員からのプレゼンテーションを交えながら意見交換が行われました。

・農林水産省からは、「所有者不明農地について」に関するヒアリングが行われました。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(国土交通省ホームページ)。

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/tochi_fudousan_kensetsugyo02_sg_000001_00081.html

■ 国土審議会第 19 回計画部会について

- ・ 5 月 26 日、国土交通省は国土審議会第 19 回計画部会を開催しました。
- ・ 1) 新たな国土形成計画（全国計画）原案について、2) 第六次国土利用計画（全国計画）原案について、議論が行われました。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(国土交通省ホームページ)。

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s103_keikaku03.html

■ 新型コロナウイルス感染症に関する情報について

※新型コロナウイルスに関する情報については、以下のアドレスから参照願います。

なお、最新の情報を入手するよう留意願います。

(首相官邸ホームページ)

<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

(内閣官房ホームページ)

<https://corona.go.jp/>

(厚生労働省ホームページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

■ 各種講演国政報告を精力的に実施

- ・ 5 月 20 日、熊本県山鹿市で農林水産業関係の方々に、「食料・農業・農村基本法の見直しと農林水産基盤関係予算の動向について」と題して講演を行い、意見交換を行いました。

=====